

中志津しごとおこしセミナーニュース第1号

(H29.3.6 発行、発行者 中志津自治会・NPO 法人ワーカーズコープ)

はじめに…

一昨年前に開催しました、中志津自治会とワーカーズコープが共催で開催した「クローズアップ現代：自治会編」では、佐倉市内や中志津地域における地域の課題や行政政策を学びあいました。あれから1年が経過し、具体的な課題解決や地域づくりを描くために、2月19日から「しごとおこしセミナー」を4月9日まで4回開講する運びとなりました。



初日講座では 60 名の中志津地区の方が参加し、ワーカーズコープによる全国や広島での「しごとおこし」の実践紹介、参加された皆さんと自分たちの住む地域の課題を話し合いました。

地域課題を住民自身がささえあい、住民立の「しごとおこし」を講座終了後描いていきたいと思っておりますので、引き続き多くの参加をお待ちしております。(裏面日程表参照、途中参加でも可能です)

2月19日 第一回しごとおこしセミナーの様子と感想

○全体会の感想

- ・ワーカーズコープの協同労働についての話はいろんな実践(実例)を交えて分かりやすく今後のまちづくりのイメージが膨らんだ。
- ・広島呉のワーカーズコープ「まる・さんかく・しかく」の話を聞いて、空き家を活用できないかと思った。食事業であればお金がかかるので、居場所や図書館等の機能ができればと思う。
- ・地域住民が協力をして食を通じた多世代交流などの事例からこれから高齢者や介護者の多くなる中志津も参考になる。
- ・この取り組みが有償か無償なのか。今日参加している人はほとんどが有償を期待してきている。(年金+α)。また、仕事おこしの事業の運営主体はどこか？



- ・もう少し若い人たちにも呼びかけて 多世代が参加するセミナーになればよい。
- ・はじめての参加で地域の課題が細かく網羅されているので大変参考になった。

○分散会での意見など

- ・もし妻に先立たれたら食事が心配です。商店街にふらっと行けて安い食事ができてゆっくり居られる場所が欲しい。
- ・自分がどのくらい、どこまでできるのかと思った。一緒に何かをやれば良いなと思う。(人の為、自分の為、家族の為)
- ・日頃様々なボランティア活動をしている。この講座を通してどんなことができるか。何か活動をするうえで人集めが重要。そして集まった人たちを牽引できるリーダーが必要。
- ・支え合いサービスの担い手にもなっており、草取りなどをしている。中志津自治会内で支え合いサービスのような活動をする場合、既存の活動団体と連携することが大事。
- ・志津の魅力や特徴を創りだし魅力ある地域づくりをしたい。例えば川沿いに花(あじさい)を植栽してイメージアップするとか
- ・少子高齢化が進む中、私も健康面からも年齢を意識される歳になった。1・2年後の先行きなど、心配事が多くなった。今後、地域の絆がより大切になるので、セミナーに積極的に参加し、自分の心身面の健康と合わせて地域の活性化に少しでも貢献できればと思う。
- ・地域の高齢化は待ったなし。病気等の人が隣近所多くなっている。地域での支援活動は絶対不可欠。ワーカーとして何ができるのか、これから考えていきたい。

＜しごとおこしセミナー カリキュラム (計4回講座)＞

開講日	内容	講師
2/19 (日) 10時～12時	①「協同労働」って何？ 暮らしと地域のニーズに応え、コミュニティに役立つしごとを自分たちの手で作り出す	ワーカーズコープ ・田中 羊子 専務理事 ・谷 真寿美 (呉暮らしサポートO△□)
3/12 (日) 10時～12時	②中志津の地域の宝と課題から、仕事おこしの可能性を考える	・深澤圭井子(志津南部地域包括支援センター) ・新谷 義男 (NPO 子どものまち副理事長／中志津中央商店街内) ・堀川清美(中志津地区民生委員)
3/26 (日) 10時～12時	③中志津地区の10年後を予測し、住み続けたいまちを自分たちの手でつくるために(人口予測、住民ニーズ調査と計画づくりの取り組み方)	人と組織と地球のための国際研究所 ・代表 川北 秀人
4/9 (日) 10時～12時	④住み続けたいまちへ…みんなの願いを形に。あったらいいな、心配だな、もったいないなを持ちよって、中志津を住み続けたいまちにするための仕事おこしを一緒に進めませんか	ワーカーズコープ 中志津準備会